

感震ブレーカーを設置しましょう

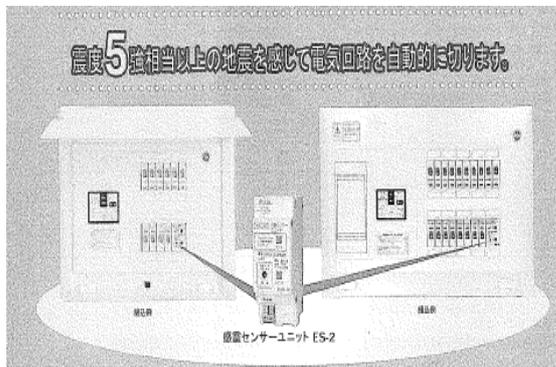
地震後に発生することが多い火災の原因の多くには、電気が関わっています。このような電気火災を防止するため、鳥取県では感震ブレーカーの設置促進に取り組んでいます。

【感震ブレーカーとは】

感震ブレーカーは、地震を感知する信号が震度6等の設定値以上になった場合に、配線用ブレーカー又は漏電ブレーカー等を遮断する信号を出すことにより、電気を自動的に遮断します。火災を防止するために、ブレーカーを落とそうと地震後に建物の中に戻るのは非常に危険です。感震ブレーカーが設置されていれば、自動的に電気を遮断できます。多くの家庭に設置されれば、その地域の防災力の向上にもつながります。

(用途に応じて数種類あり、価格は工事費込みで2万円～10万円程度です。)

【配電盤タイプ】



【コンセントタイプ】

「ルモマコンセント」とは、地震の揺れを検知し、電気を自動遮断することにより、火事(火災)を未然に防ぐもので、世界で初めて製造販売する、埋め込み型コンセントです。



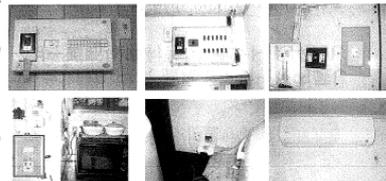
地震対策

一般家庭取付例

ルモマ感震機能付きタイプ

電気遮断機として分電盤に設置例

従来コンセントを取替えた設置例(アース線付き)



【電気火災の原因】

1. 器具の破壊・破損による直接発火



2. 通電状態等による発熱・発火 3. 再送電時による発熱・発火

